京 forum agenda 21

月刊 あじぇんだ

2005年 3月

京のアジェンダ21フォーラム　事務局通信

事務所　〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F　活動支援室内
TEL：075-647-3535　FAX：075-647-3536
E-mail：ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局　〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
京都市環境局地球環境政策課内
TEL：075-222-4037　FAX：075-222-4039

KES認証事業部　〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
京都工業会館2F　TEL/FAX：075-323-6686
E-mail：kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp
＜ホームページ＞　http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/

3/12（土） 第11回（京）次世代都市交通導入フォーラム

今回は京都市電開業110年記念フォーラムです

今回のフォーラムは京都市電開業110年を記念し、開業当時のよもやま話と新型国産初低床式LRT(広島電鉄納入)設計コンセプトのご紹介をさせていただきます。

■主催：（株）モチベート　共催：京のアジェンダ21フォーラム
■日時：3月12日(土)午後1時半～4時半
■場所：ぱるるプラザ京都（JR京都駅烏丸口東側）
4階第3会議室

■内容
・路面電車よもやま話　鉄道友の会京都支部長　高山禮蔵氏
・Jtram（国産初低床式LRT)のコンセプト
近畿車輛（株）チーフデザイナー　南井健治氏
コーディネーター：（株）まち創生研究所代表取締役　酒井弘氏
■参加費：3,000円（学生1,000円）
■問合：（株）モチベート　森五宏　090-7118-9690
■申込：メールかFAXでお願いします。
Email：i.mori@motivate.co.jp　FAX：06-6312-1151

3/13（日） 食の循環WG活動報告「生ごみ循環は地域コミュニティでどこまで進んだか?!」

事前申込で特製昼食を用意します！

2002年6月に発足した食の循環ワーキンググループ(WG)は、家庭から出る生ごみを地域コミュニティで循環させるシステムづくりを目指して活動してきました。

前半の部では3年間かけて行なってきた様々な先進事例の見学、葵学区と御室学区での地域モデル実験、堆肥化方法の教材づくりなどの活動を振り返って報告するとともに、WGで作成した教材『やってみませんか"生ごみ"からの堆肥づくり』に掲載した堆肥化方法を実演紹介します。

後半の部では、これからの"食の循環"に向けた円卓会議を開催します。WGメンバー、農家、事業者、行政関係者、研究者などを招き、来場者の方々に議論に加わっていただきたいと考えています。

その他、WGメンバー特製のエコクッキングによる昼食セット(要予約)もあって盛りだくさんの内容です。

"食の循環"に向けた協働のあり方について一緒に考え、話し合い、実践を生み出していくきっかけとなる一日にしましょう！

■日時：3月13日(日)午前10時～午後3時
■場所：京エコロジーセンター
■参加費無料、特製昼食を用意します！【1食300円、要予約】
■当日のスケジュール
10:00－11:00　食の循環WG活動報告
11:00－12:00　生ごみ堆肥化方法の実演
12:00－13:00　昼食
13:00－15:00　食の循環・円卓会議
■昼食の予約申込・問合先　フォーラム事務所

3/16（水） はじめよう！環境コミュニケーション～自然エネルギーとCSR（企業の社会的貢献）～

企業と市民・NPOとの意見交換と交流会

近年、地球温暖化問題をはじめとする環境問題への関心の高まりを背景に、環境マネジメントシステムや様々な環境対策に取り組む企業が増えています。

今回の交流会では、企業各社の取組内容をご紹介いただくとともに、自然エネルギーWGからは、今後、企業の取組に対する選択肢の一つとして、自然エネルギーの利用・普及を提案していきます。

この交流会を機会に企業と市民、NPOとの連携関係を築いていきたいと思います。ぜひご参加ください！

■日時：3月16日（水）午後6時半～（2時間程度を予定）
■場所：京エコロジーセンター　1階シアター
■参加費：500円（事前申込不要）
■内容
（1）事業者にとってのCSRとは（活動報告）
・取組紹介（2～3例）
・意見交換
（2）CSRとしての自然エネルギー（交流会）
・CSRとしてのおひさま発電所の可能性（自然エネルギーWGより）
・意見交換
■主催：京のアジェンダ21フォーラム自然エネルギーWG
■後援：京都工業会(予定)、京都商工会議所（予定）、環境市民、京都府地球温暖化防止活動推進センター(予定)、京エコロジーセンター（予定）、KES倶楽部
■問合先：フォーラム事務所

Agenda Forum ◎3月　ミーティングと主催行事の予定

■2日（水）午前10時～　食の循環WG運営会議
（於：市役所寺町第3会議室）
■2日（水）午後7時～　交通WG公共交通タスク会議
（ひと・まち交流館 京都3F第3会議室）
■4日（金）午後3時～　企業活動WG運営会議
（於：市役所寺町第1会議室）
■8日（火）午後7時～ エコミュージアムWG大原野プロジェクト会議
（於：大原野自治会館）
■10日（木）午前10時～ えこまつりWG運営会議
（於：場所未定）
■13日（日）午前10時～　食の循環WG活動報告(詳細上記)
（於：京エコロジーセンター）
■14日（月）午後7時～　交通WG自転車タスク会議
（於：朝日ビル9F会議室）
■16日（火）午後6時半～　はじめよう！環境コミュニケーション
（詳細上記　於：京エコロジーセンター）

エコミュージアムWG －大原野森林公園プロジェクト

－木質バイオマス実験事業、終了後の方向性は

京都議定書発効の前日である2月15日に、最後の大原野森林公園バイオマス事業化検討委員会を開き、公園にログウッドボイラー(丸太をそのまま燃やせるボイラー)を導入していく可能性などを議論しました。委員のほかに20名近い傍聴者があり、大変盛況で活発な意見が交わされました。

ボイラーを導入しても、コストの割にはCO2の直接的な削減効果は少ないですが、公園に関わる様々な人々の協力が得られることで、生物多様性が保全され、環境教育プログラムも提供できるようになるなど、多面的な公園の魅力を向上させることがわかりました。

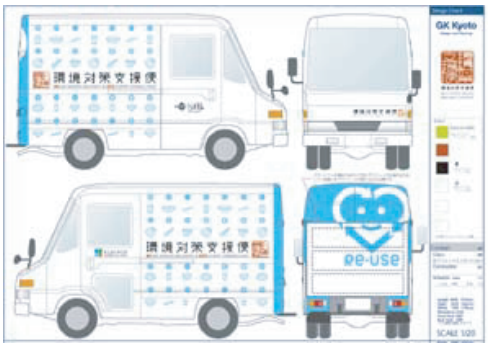
そして、ログウッドボイラーが市内に普及した場合のCO2の削減効果を算出する予定です。このような将来展望を受けて、エコミュージアムWGでは、CO2削減を含む、複合的な効果があがるシナリオを具体化していくことになります。

京都市が管理する公園で、率先してCO2を削減する意味は大きく、他への波及効果も大いに期待できます。また、大原野森林公園で、次々と新しい事業やイベントを生み出すことができるリーダーシップを取れる団体、すなわち我々エコミュージアムWGが、どのように関連団体と連携していくかがこの事業の成否を握るということも再確認されて、大きな期待で身の引き締まる思いです。年度末に出る報告書に期待してください。

(エコミュージアムWG　コーディネーター　笹谷康之)

えこまつりWG

－完成！「環境対策支援便RE・ECO(リ・エコ)」



3月にはいよいよお目見えする「環境対策支援便RE・ECO」のイメージデザイン(右のデザインは2月段階のもの)

えこまつりWGでは、使い捨て容器からの脱却をはかるため、平成15・16年度環境省の事業の一環で、「お祭り／イベントにおけるリターナブルシステムの構築」を受託し、具体的な調査／研究を行なってきました。システムの構築の課題の一つにリユース食器や洗浄機の運搬に関する問題があったからです。

2005年3月。切望していた運搬車が研究の成果から遂に完成！ その名も「環境対策支援便RE・ECO(リ・エコ)」(上参照)。デザイン企画はGK京都と共に時間をかけてじっくりと行なってきました。

初のお披露目は3月4・5・6日に新潟で開催される「全国リユース食器シンポジウム」の場となります。

「環境対策支援便RE・ECO」はただの運搬車ではありません。システムの導入を支援するいわばノウハウのかたまりなのです。

ここ数年「リサイクル」の重要性が声高に叫ばれ、ハード的にも整い認知度も高まった一方で、「リユース／リターナブル」に関してはとても認知度が低いのが現状です。実際、社会的な仕組みさえ整えば、リサイクルする前にリユースすることにより、具体的に環境負荷が軽減することが調査から分かっています。

今後は、その仕組みづくり(事業性を実証する)を継続的に行っていくと同時に、「リユース／リターナブル」の社会的な関心を高めることが必要不可欠です。地域の方々と連携し、リユースの輪を広げることを目指して－「環境対策支援便RE・ECO」の活躍は京都の「環境に配慮したおもてなし」の顔になることを願っています。

(えこまつりWG　コーディネーター　太田航平)

平成16年度第4回常任幹事会報告

平成17年2月2日（水）午後1時から、平成16年度第4回常任幹事会を開催しました。会議の主な内容は以下のとおりです。

＜京のアジェンダ21フォーラムの今後の運営について＞

フォーラムの現状及び抱えている課題、そしてそれらを踏まえた今後の運営について、事務局から提出した資料に基づき、協議していただきました。今後の流れとしては、コーディネーター会議を開催させていただき、各ワーキンググループコーディネーターの皆さんの御意見もいただいた上で、役員会に再度諮らせていただくこととなりました。

＜承認・報告事項＞

以下の事項について、承認をいただきました。

- 役員の選任について（幹事の交替：幹事会の案件とすることの承認）
- ワーキンググループコーディネーターの選任について（企業活動ワーキンググループ）

併せて、以下の内容について報告しました。

- 各ワーキンググループの活動状況について
- 地球温暖化防止条例協働提案プロジェクトチームについて
- 事務局からの会議への委員等派遣について

＜環境にやさしい交通体系の創出ワーキンググループ＞
交通WGこの１年

この１年、交通WGではさまざまな活動をしてきました。主な活動を紹介いたします。

◆醍醐コミュニティバス発車

2004年２月16日、市民の手でバスが運行されるという、全国でも初の試みがスタートしました。フォーラムでは２月23日の五大力や４月初旬の桜の季節など、醍醐寺への利用者が多い時期に利用促進の応援などを行いました。バスの利用者は順調に増加し、12月９日には通算20万人を突破しました。

◆「さいくるん」実験

市街地の駐輪場利用促進を目的に11月の１ヶ月間、「さいくるん」の実験事業が行われました。これは、協力いただいた有料駐輪場や自転車屋さんを利用するとポイントがたまり、抽選で商品がプレゼントされるという実験で、27枚のプレゼント抽選の申し込みがありました。

◆伏見工業高校・洛水高校総合学習

"自転車を活かすまちづくり"を中心テーマに、高校の生徒さんたちが学校周辺の自転車交通に関して調査しました。放置自転車や自転車事故の多い場所を調査し、それらのデータを地理情報システム（GIS）に入力して地図化しました。

◆（京）次世代都市交通導入フォーラム

低床式の路面電車（LRT）といった次世代の公共交通機関の導入に向けて、「(京）次世代都市交通導入フォーラム」に5、7、9、11、1、3の各月、(株)モチベートと共催しました。

◆「交通掲示板」設置

交通WGメンバーの問題意識や困っていること、交通にかかわる情報の共有などを目指して"交通WGのHP"が開設されました。イベント・勉強会の案内や、誰もが気軽に発言しあえる交通に関する情報交換・掲示板、京都府下やその周辺に関わる交通ニュースなどが主な情報内容です。今後も充実した内容を目指していきます。ぜひご参加ください！

京都にはバス・地下鉄・ベロタクシー・自転車・徒歩とさまざまな交通手段があります、それらが有機的に結びついて環境負荷の小さい住みよい「まちづくり」に活かされます。交通WGは次年度も様々な活動を計画していきます。皆様のご参加お待ちしております。

（環境にやさしい交通体系の創出WGアシスタント　井上学）

醍醐コミュニティバス、発車１年

あけぼの保育園の保育士たちによる、「あけぼの太鼓」の披露
（伏見区パセオダイゴロー西館にて）

2005年２月19日、醍醐コミュニティバスの発車１周年記念式典が、パセオダイゴロー西館２階で盛大に催されました。

式典では、来賓、運営主体の「醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会」※1(以下、市民の会)、そして経費面で運行を支える「パートナーズ」※2の方々の挨拶などがなされました。市民の会の岩井事務局長からは、利用者数が23万人を超えたことや、昨年12月に「第８回バスラマ賞」を受賞したことなど、発車１年を振り返っての報告と、今後より一層の利用促進の呼びかけをされました。

また、記念行事として、小栗栖中学校吹奏楽部による演奏、６校区の地域女性会による花笠音頭、そして、あけぼの保育園の保育士たちによる「あけぼの太鼓」が披露され、発車１周年に花を添えました。

※１醍醐10校区の自治会と醍醐６地域女性会を中心に組織された、醍醐コミュニティバスの運営主体
※２運行経費をカバーするために協力金を沿線の商業施設や寺院、病院、企業、個人等から募っている。この方式は「市民共同方式」と呼ばれる全国初の仕組みで、注目を集めている

＜事務局より＞

企業活動WGコーディネーター交代のお知らせ

企業活動ワーキンググループ(WG)のコーディネーターが下記の通り交代しましたので、お知らせします。
西川幸治氏(グンゼ・CSR推進室室長代理、京都工業会環境委員会・副委員長)
(津村昭夫コーディネーターの後任として)

小田桂子さん出産

元事務局スタッフの小田桂子さんが、産休中の1月27日に、身長46.5cm、体重2630gの女の子を出産されました。おめでとうございます。

＜KES認証事業部より＞　★２月の新規認証取得企業　2005年２月１日現在

※確認審査合格企業の詳細については、ホームページ(http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm）をご参照ください。

ステップ１

KES1-0281 株式会社パントス（京都府宇治市）
KES1-0282 有限会社アールケイ興産（大阪府八尾市）
KES1-0283 株式会社丸起（右京区）
KES1-0284 カンエイ産業株式会社（大阪府八尾市）
KES1-0285 北村会計事務所（伏見区）
KES1-0286 株式会社ティーエーシー（下京区・京都府綾部市）
KES1-0287 関西計装株式会社（伏見区）

～訂正～　２月号に次の訂正がありました。お詫びして訂正します。（事務局）
2ページ『医療機関がKESを初めて取得』の欄　右列3行目　EMS(救急医療)→EMS(環境マネジメントシステム)

クローズアップ アジェンダ

ドキュメント216

京都議定書発効当日

京都議定書発効記念パレードは雨の中の開催ながら、多くの参加者を集めた（河原町通にて）

2月16日、いよいよ京都議定書が発効しました。
今回は、発効当日をドキュメントで追ってみたいと思います。

◆京都議定書発効記念パレード

1:00PM　京都市役所前に続々と人が集まりだす。京都議定書発効記念パレード（気候ネットワーク主催）に参加する人たちだ。気温は高いものの、昨日から降っていた雨がまだ少し残っている。

1:30PM　京都市役所前出発。パンダ、サルなどの着ぐるみを着た人たちや、横断幕やのぼりを掲げる人など、表現の仕方は様々。河原町通を南下。

2:00PM　四条大橋界隈に到達。ちょうど午後2時をもって、京都議定書が発効したことになる。

2:30PM　八坂神社に到着。ここでパレードは解散。その後、記念写真を撮る人、急ぎNGO集会とシンポジウムの開かれる国立京都国際会館へ急ぐ人…四条通を引き返すグループは、この後続いた近畿宗教者連盟のパレードに遭遇し、エールの交換をする。
パレードが済むころになって、雨の止み間もようやく長くなってきたのが恨めしい。

◆NGO集会「進もう京都議定書とともに」

4:00PM　国立京都国際会館では、フォーラムと京エコロジーセンターの共同ブース設置完了。この日発行のニュースレター『あじぇんだ 第22号』や京のアジェンダ21のパンフレットなどが持ち込まれ、来場者を待つ。

5:00PM　NGO集会「進もう京都議定書とともに」開会。オープニング音楽は聖母被昇天学院ハンドベルクワイヤーの演奏から始まる。京都議定書の誕生を『Happy Birthday to you』などのハンドベル演奏で祝う。その後COP3から議定書発効までの流れをスライドで紹介。
続いて、COP3当時気候フォーラム（当時。現気候ネットワーク）顧問の西島安則氏らの挨拶、そしてリレートークに。

6:20PM　再びスライドショー。今度はCOP3後の京都での取組が紹介される。太陽光パネル設置や、KES、醍醐コミュニティバス、ベロタクシー、省エネラベル、京都市地球温暖化対策条例、エコセン、京都府温暖化防止活動推進センターなどの紹介その後リレートーク第2部。京都工業会理事の津村昭夫氏（フォーラム常任幹事）からは、KESが果たす温暖化防止の効果についての話が。

7:00PM　気候ネットワーク代表の浅岡美恵氏（フォーラム常任幹事）の挨拶で閉幕。

◆京都議定書発効記念行事

7:30PM　記念シンポジウム開幕。高野博師環境副大臣の開会挨拶、山田啓二京都府知事、桝本頼兼京都市長の歓迎挨拶、ゴンザレス・ガルシアアルゼンチン厚生環境大臣、COP10議長の来賓挨拶で始まる。

8:00PM　大木浩元環境大臣、COP3議長、ヨーケ・ウォラーハンター国連気候変動枠組条約（UNFCCC）事務局長、2004年ノーベル平和賞受賞者でもあるワンガリ・マータイケニヤ環境副大臣の基調講演。それぞれが議定書発効を祝う言葉を述べるとともに、発効後、私たちがすべきことなどについて訴えかけた。

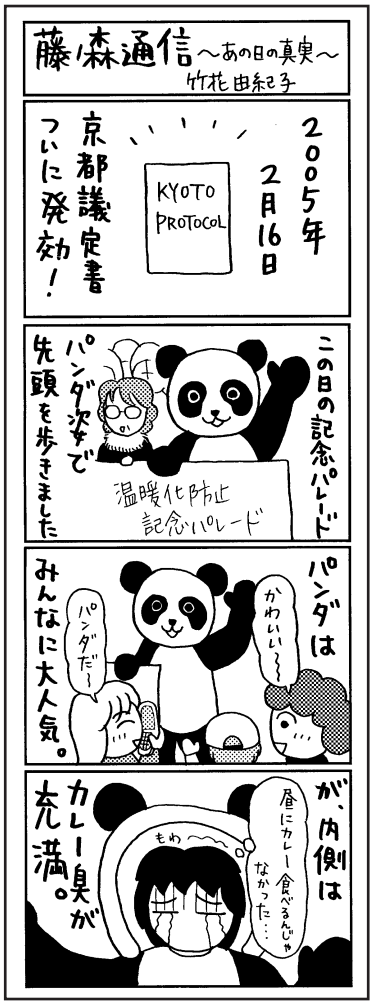
8:30PM　パネルディスカッションが始まる。8名のパネラーから、議定書発効についてのコメントと意見交換。

10:00PM　リレーメッセージが始まる。ここから小池百合子環境大臣が司会を務める。
世界中からメッセージが京都に集まり、11カ国・機関の代表らがこれからの決意などを述べた。

10:50PM　記念行事終了。

この日、世界のあり方を変えるための第一歩として、京都の名が歴史の1ページに載りました。全ての人が「京都議定書」を意識した経済活動や市民生活を行うことによって、議定書を反故にすることがないように願い、かつ努力していきたいものです。

なお、京都議定書発効当日のリアルタイムレポートや、関連ニュースの概要については、ブログ「京都議定書発効箚記（さっき）」をご覧ください。http://d.hatena.ne.jp/ma21f/



編集後記　年度末が近づき、各WGの今年の活動成果が見えてきました。それぞれの報告を読んで関心を持った方はぜひ活動にご参加ください！（竹村光世）／小学校環境教育（ボランティア）で子ども達の純粋さに感動。子ども達への教育は、地球の未来への投資であることを実感しました（小山直美）／いよいよ京都議定書が発効。そんなこんなで情報も多く、8ヶ月ぶりに増ページにしてみました。いかがでしたか？（滋野浩毅）